

## 不具合事例

整理番号 T-04-001

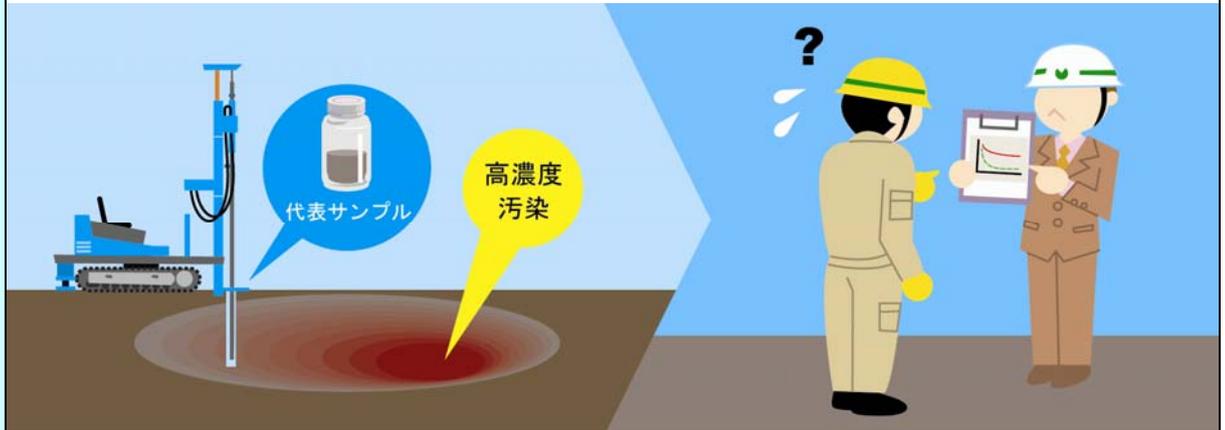
タイトル	設計・実験の試料が現場の土壌・水質を代表していない！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「その試料は、本当に現場を代表する試料なの!？」</p>		
作業内容	土壌汚染対策の設計（実験）と施工		
使用機器	試料採取機（水質・土壌）		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌・地下水汚染の対策工事の設計をするため試料を採取したが、実際は現場を代表する試料では無かったため、期待された効果が得られず、着工後の設計変更が必要となった。</li> </ul>			
予防措置（計画者・監督者・作業員）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試料採取箇所の選定は、調査内容（地質・汚染濃度分布・汚染原因・汚染物質）を十分確認し、現場を代表する試料を採取できるよう熟慮し、慎重に行う。（計画者・監督者）</li> <li>・調査結果を確認したうえで“汚染の偏在性”や“試料ムラ”を想定し、複数試料採取する。（計画者・監督者）</li> <li>・試料採取は、可能な限り設計者がおこなう、もしくは設計者による的確な指示のもとおこなう。（計画者・監督者）</li> <li>・汚染物質毎の特徴を考慮し試料採取時の“コンタミネーション”や“揮発・拡散”などを防止する。（計画者・監督者）</li> <li>・設計者の指示に従い、“コンタミネーション”や“揮発・拡散”の防止に努める。（作業員）</li> </ul>			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書の再確認・対策計画書の見直し、実験用・設計用試料の再採取。</li> </ul>			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試料輸送時も、試料容器の気密性を確保するよう注意する。</li> </ul>			
関連法規等、出典			
キーワード	汚染の偏在性、試料ムラ、コンタミネーション、揮発・拡散		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

設計・実験の試料が現場の土壌・水質を代表していない！

説明図

「そのサンプルは、本当に現場を代表する試料なの！？」



作業内容

土壌汚染対策の設計（実験）と施工

指示事項

- ・ 試料採取箇所を選定は、調査内容（地質・汚染濃度分布・汚染原因・汚染物質）を十分確認し、現場を代表する試料を採取できるよう熟慮し、慎重に行う。
- ・ 設計者の指示に従い、“コンタミネーション”や“揮発・拡散”の防止に努める。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン